

監 査 報 告 書

2020年 5月 15日

公益財団法人 大宅壮一文庫
理 事 長 枝 廣 映 子 殿

公益財団法人 大宅壮一文庫
監 事 相 馬 計 二 様 署 名

⑩

監事は、当財団の2019年(平成31年)4月1日から2020年(令和2年)3月31日までの事業年度の理事の職務執行を監査いたしました。その方法及び結果について、以下の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

理事会その他会議で、理事及び大宅壮一文庫職員と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に務め、職務の執行状況について報告を受け、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

さらに、会計帳簿やこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算表)、付属明細書並びに財産目録などについて検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告などの監査結果

①事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正な行為、または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべて重要な点において、適正に示しているものと認めます。